

あなたの声をまちづくりに

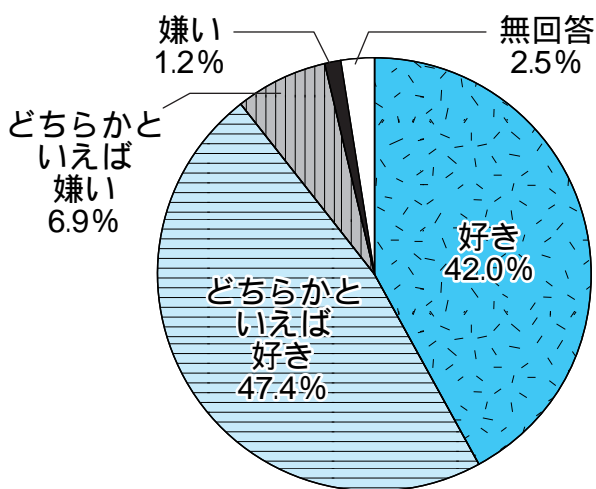
市民の皆さん
3,832人に
聞きました


「市政に関する世論調査」は、市民の皆さんが市政や生活環境についてどのように考え、何を望んでいるのかを把握し、これからの市の施策に役立てるために、毎年実施しています。今回は、その主な結果をお知らせします。


調査に当たっては、多くの皆さんにご協力をいただき、ありがとうございました。

市に対する感じ方

質問 宇都宮市を好きですか。それとも嫌いですか。



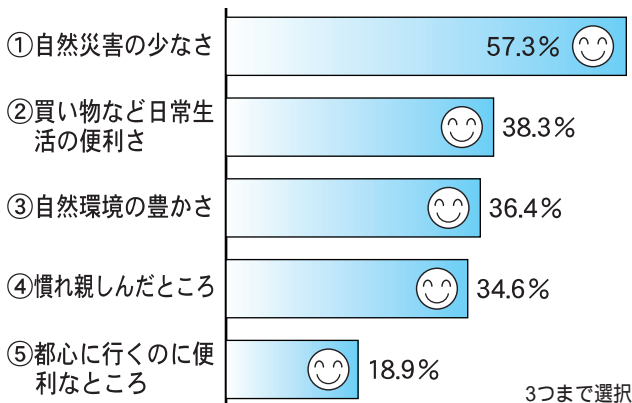
 好き / どちらかといえば好き
89.4%

 嫌い / どちらかといえば嫌い
8.1%

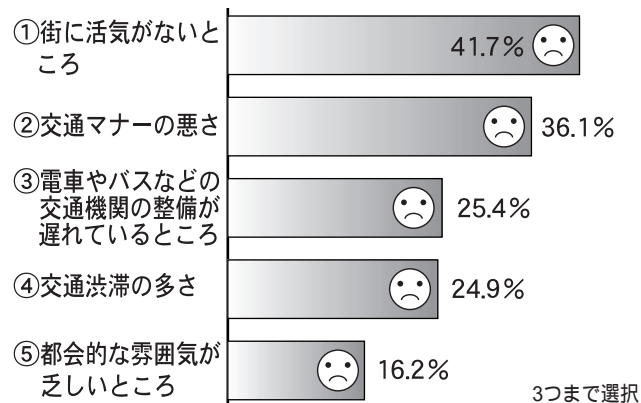
性・年齢別では、「好き」は女性の60歳代と70歳以上で5割を超え、男性の40歳代～60歳代と、女性20歳代で4割を超えています。

居住年数別では、「好き」は居住年数が長いほど高くなっており、出生時から住んでいるでは5割を超え、5年未満と5年以上～10年未満では2割台前半となっています。

好きな理由（上位5項目）



嫌いな理由（上位5項目）

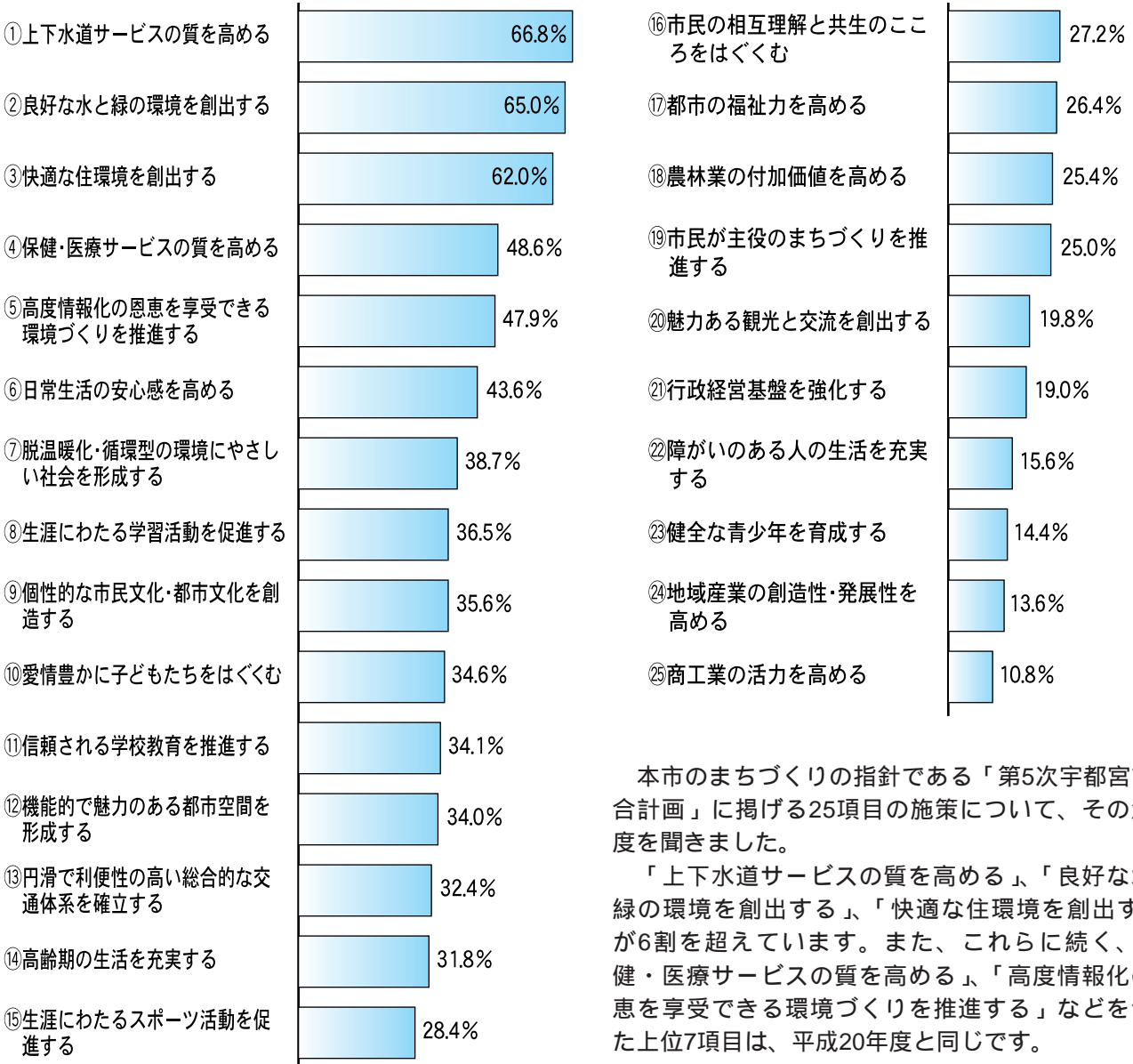


本文中に費用などの記載がないものは、原則として無料
HP ホームページ、☑ Eメールアドレス

市の取り組みについての意識

質問 あなたは、現在の宇都宮市の取り組みについて、どのように感じていますか。
 それぞれの質問ごとに最も当てはまるものを1～5から選んでください。1.そう思う 2.どちらかという
 とそう思う 3.どちらかというと思わない 4.そう思わない 5.わからない

満足度（そう思う、どちらかというと思おう）の合計



本市のまちづくりの指針である「第5次宇都宮市総合計画」に掲げる25項目の施策について、その満足度を聞きました。

「上下水道サービスの質を高める」、「良好な水と緑の環境を創出する」、「快適な住環境を創出する」が6割を超えています。また、これらに続く、「保健・医療サービスの質を高める」、「高度情報化の恩恵を享受できる環境づくりを推進する」などを含めた上位7項目は、平成20年度と同じです。

世論調査の方法と調査項目

対象 満20～79歳の市民の皆さん、3832人。住民基本台帳から、10分の1の割合で無作為に抽出。

調査方法 郵送。

調査期間 7月6～24日。

有効回収率・率 2346

件・61.2%

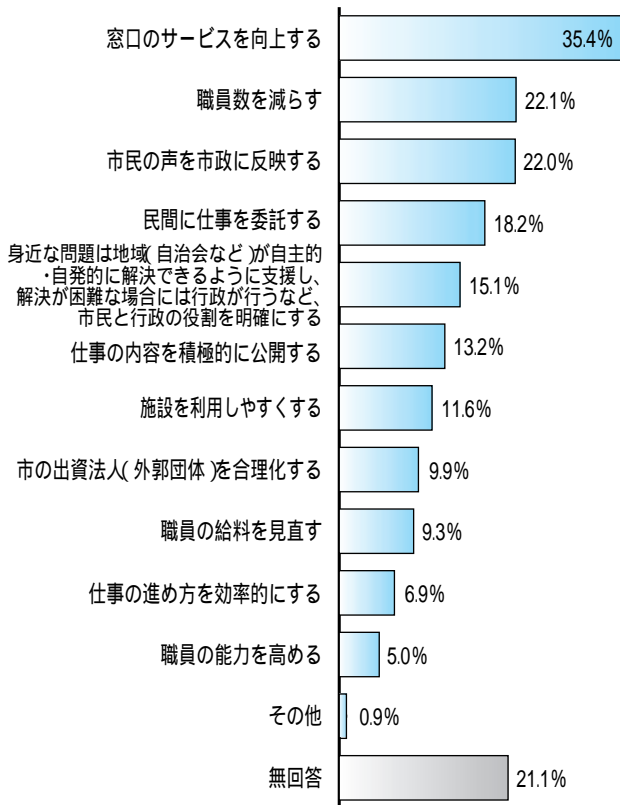
調査項目 「市に対する感じ方」「行政改革の取り組み」「インターネットの利用」「広報媒体の活用状況」「男女共同参画」「自転車の利用」など。

項目別集計のほか、性別・年齢別・職業別・家族構成別・居住年数別・居住地域別など、細かな分析を実施。また、市の基本施策の満足度などを調査した「市の取り組みについての意識」の分析を併せて実施。

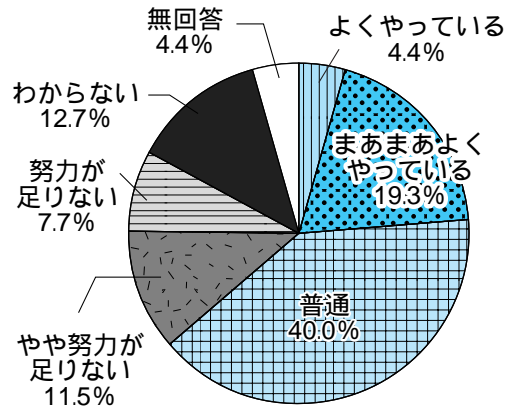
その他 回答の比率(%)は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しているため、設問によっては数値の合計が100%にならないものもあります。また、複数回答の設問については、100%を超えることがあります。

行政改革の取り組み

質問 市のここ数年間の行政改革の取り組みで、評価できるものは何ですか（3つまで）。



質問 これまでの市の行政改革の取り組みについて、どのように思いますか。

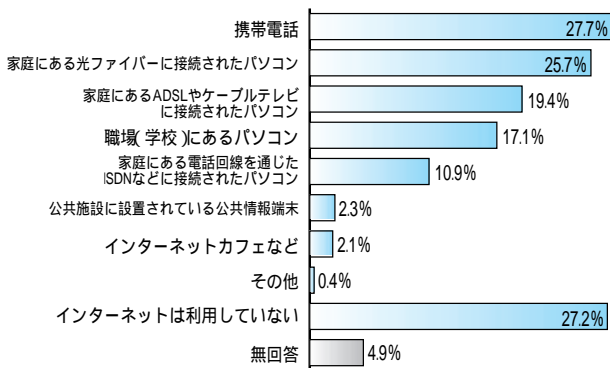


ここ数年間の行政改革の取り組みで評価できるものは、「窓口のサービスを向上する」が3割台半ばで最も高く、続いて「職員数を減らす」「市民の声を市政に反映する」がともに2割を超えています。

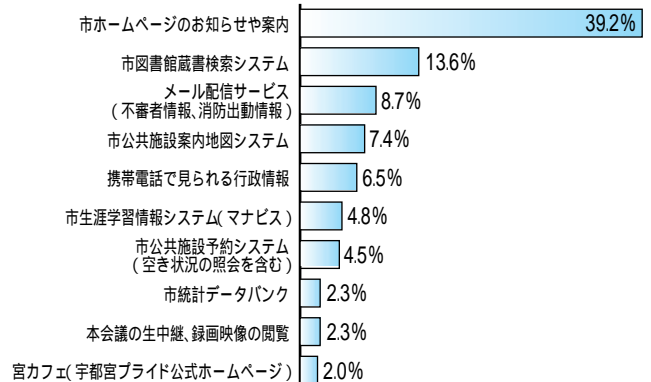
これまでの市の行政改革の取り組みについては、「よくやっている」「まあまあよくやっている」の合計が2割強となっており、「努力が足りない」「やや努力が足りない」の合計が2割弱となっています。また、「普通」が4割となっています。

インターネットの利用

質問 インターネットを利用するときの主な環境（使用機器）はどれですか（いくつでも）。

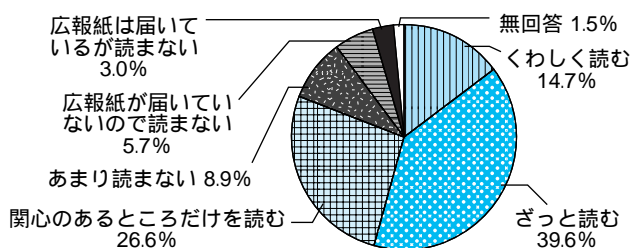


質問 インターネットを利用した市のサービスで、利用したことのあるものはどれですか（インターネット利用者のみ対象、いくつでも）。（上位10項目）



広報媒体の活用状況

質問 どの程度「広報うつのみや」を読んでいますか。



主なインターネットの利用環境は、「携帯電話」が3割近くで最も高く、男女とも20歳代で5割を超えています。

「広報うつのみや」を「くわしく読む」「ざっと読む」「関心のあるところだけ読む」を合わせた「読む」の合計は8割を超えています。

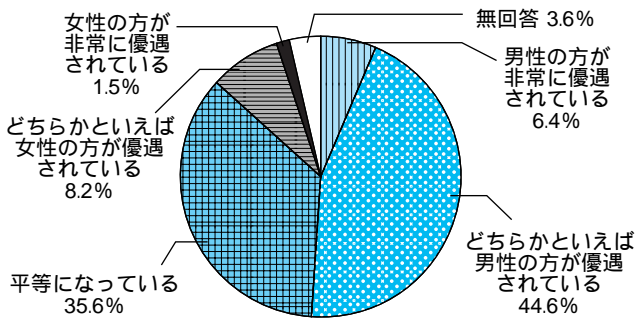
調査結果は、行政情報センターまたは市ホームページで 市政に関する世論調査の細かい内容や結果、分析をまとめた「市政に関する世論調査報告書」は、行政情報センター（市役所1階）または市ホームページでご覧になれます。☎広報広聴課☎(632)2022

本文中に費用などの記載がないものは、原則として無料
HP＝ホームページ、☑＝Eメールアドレス

男女共同参画



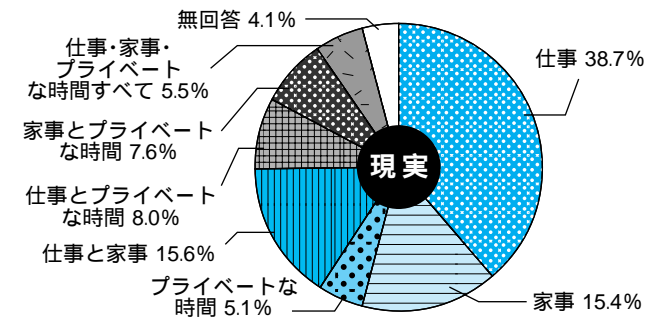
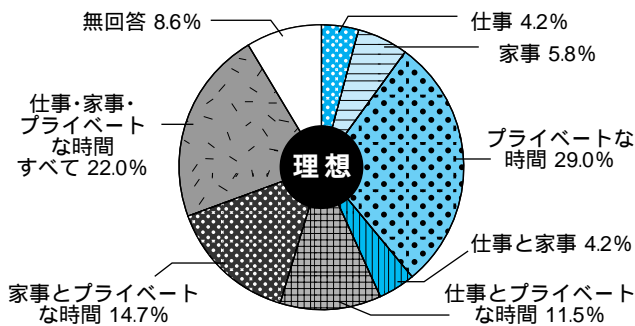
質問 現在、家庭生活で男女の地位は平等になっていると思いますか。



家庭生活での男女の地位について聞いたところ、「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた「男性優遇」の合計は5割を超えており、女性50歳代で最も高く、7割近くとなっています。また、「平等になっている」は3割台半ばとなっています。

仕事・家事・プライベートな時間のうち、生活の中で優先するものは、【理想】では「プライベートな時間」が3割近くで最も高く、次いで「仕事・家事・プライベートな時間すべて」が2割を超えています。【現実】では「仕事」が4割近くで最も高くなっています。

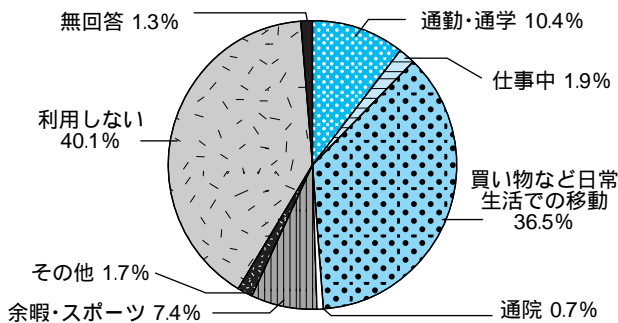
質問 生活の中で、仕事・家事(育児)・プライベートな時間(趣味など)のうち、何を優先しますか。



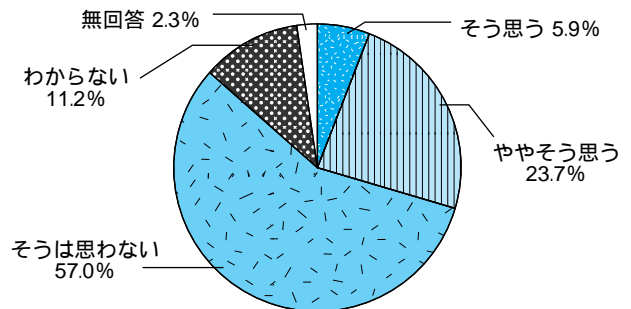
自転車の利用



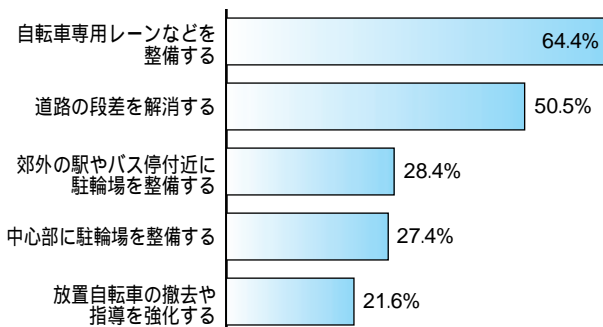
質問 自転車を主にどのようなときに利用しますか。



質問 宇都宮市は、自転車を使いやすい街だと思いますか。



質問 どうすれば、より自転車を使いやすい街になると思いますか(3つまで)。(上位5項目)



自転車を主にどのようなときに利用するか聞いたところ、「買い物など日常生活での移動」が3割台半ばで最も高く、特に、女性60歳代では5割を超えています。

宇都宮市は自転車を使いやすい街かどうかという質問では、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた「使いやすい」の合計が約3割、「そうは思わない」が6割近くとなっています。

この特集についての意見や問い合わせは、広報広聴課☎(632)2022へ。